

分野	授業科目名	単位数	時間数	開講時期
専門	老年看護学概論	1	15	1年次 ・ 2学期
担当講師	専任教員 (病院での看護経験あり)			
授業概要	ライフサイクルにおける老年期の発達課題と健康問題について身体的、心理・社会的な側面から理解し、老年看護の基礎となる考え方を学ぶ。 現代の高齢者の特徴、高齢者にとっての健康や QOL の意義について考える。			
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 老年期をライフサイクルの流れの中で理解する</li> <li>2. 高齢者に関する身体・精神・社会的な特徴について概要を理解する</li> <li>3. 加齢に伴う変化が高齢者の生活に与える影響について理解する</li> <li>4. 高齢者にとっての健康や QOL の意義について考える</li> </ol>			
回数	授業内容	担当者		
第1回	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者の理解                             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 高齢者とは</li> <li>2) 高齢者の特徴と理解</li> <li>3) 高齢者にとっての健康・健康状態のアセスメント (高齢者総合機能評価 (CGA)、ADL・IADL、国際生活機能分類 (ICF) 障害高齢者の日常生活自立度 (寝たきり度) 判定基準、認知症高齢者の日常生活自立度判定基準</li> </ol> </li> </ol>			
第2回	<ol style="list-style-type: none"> <li>4) 高齢者と QOL</li> <li>5) 加齢に伴う変化 (身体機能の生理的变化・心理・精神機能の変化・社会的機能の変化)</li> </ol>			
第3回	<ol style="list-style-type: none"> <li>2. 高齢者を取り巻く社会                             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 高齢者の生活と家族</li> <li>2) 高齢者を支える制度 介護保険制度、成年後見制度、日常生活自立支援事業、地域包括ケアシステム</li> <li>3) 高齢者を支える社会資源</li> </ol> </li> </ol>			
第4回	<ol style="list-style-type: none"> <li>4) 高齢者看護における倫理 高齢者差別 (スティグマ、エイジズム)、高齢者虐待、高齢者の権利擁護 (アドボカシー)、安全確保と身体拘束</li> </ol>			
第5回	<ol style="list-style-type: none"> <li>3. 高齢者の健康維持・増進と予防                             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 高齢者にとっての健康維持・増進</li> <li>2) ヘルスプロモーション</li> <li>3) 介護予防</li> <li>4) 高齢者を対象とする健康維持・増進プログラムの要点</li> <li>5) 生活習慣予防</li> <li>6) 認知症予防</li> <li>7) 転倒予防</li> </ol> </li> </ol>			
第6回	<ol style="list-style-type: none"> <li>4. 多様な場で生活する高齢者を支える看護                             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 地域包括ケア</li> <li>2) 多様な生活の場 (在宅、介護保険施設、地域密着型サービス、デイサービス・デイケア、医療施設) リロケーション</li> </ol> </li> </ol>			

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

第7回	3) 多職種連携、チームアプローチ 5. 高齢者看護の基本	
第8回	1) 高齢者看護の特性 2) 高齢者看護に関わる諸理論 (エンパワメント、ストレングスモデル) 認定試験	
自己学習 および 関連科目	高齢者へのインタビューで知った時代背景について自分でも調べて対象理解を深めましょう。高齢者看護に影響する社会の動きに関心を見ていきましょう。 看護学概論Ⅰ、看護学概論Ⅱ、社会学、健康論Ⅰ、地域・在宅看護概論、成人看護学概論、老年看護対象論、老年援助論Ⅰ・Ⅱ、基礎看護学実習Ⅰ	
テキスト	ナーシング・グラフィカ 老年看護学① 高齢者の健康と障害 メディカ出版 ナーシング・グラフィカ 老年看護学② 高齢者看護の実践 メディカ出版	
参考図書	国民衛生の動向	
評価方法	筆記試験：60%、課題レポート等：40%	



独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

分野	授業科目名	単位数	時間数	開講時期
専門	老年援助論 I	1	30	2 年次 ・ 1 学期
担当講師	専任教員 (病院での看護経験あり) 非常勤講師 (老人看護専門看護師、認知症看護認定看護師、皮膚・排泄ケア認定看護師)			
授業概要	高齢者に起こりやすい健康障害とその看護や認知症の病態と看護について学ぶ。			
授業目標	1. 高齢者に起こりやすい症候・疾患・障害の特徴と看護を理解する。 2. 認知症の病態と看護を理解する			
回数	授業内容			担当者
第1～3回	1. 高齢者に起こりやすい症候・疾患・障害と看護 1) 高齢者に起こりやすい症状のアセスメント 痛み・しびれ、掻痒 (かゆみ)、脱水、低体温・熱中症、浮腫、めまい 2) 精神・神経機能障害と看護 パーキンソン病、うつ病、せん妄			第1～3回
第4～8回	3) 視覚・聴覚障害と看護 4) 呼吸・循環機能障害と看護 肺炎、慢性閉塞性肺疾患 (COPD)、高血圧、脳卒中、不整脈、心不全 5) 泌尿器障害と看護 尿路感染症、前立腺肥大症、慢性腎臓病 (CKD) 6) 感染症と看護			第4～8回
第9回	7) 皮膚障害と看護 老人性皮膚掻痒症、褥瘡、スキンケア			第9回
第10～14回	2. 認知症の看護 1) 認知症の病態と要因 2) 認知症の症状の理解とケア 3) 認知機能の評価方法 4) 認知症の予防と治療 5) 認知症高齢者とのコミュニケーションの基本 6) 認知症看護認定看護師など高度看護実践者や多職種との連携 7) 急性期医療における認知症高齢者へのアプローチ 8) 認知症高齢者の家族への支援とサポート 9) 認知症高齢者の人権と権利擁護 10) 認知症高齢者の終末期ケア			第10～14回
第15回	認定試験			第15回
関連科目	事前に学習内容について文献を用いて調べておく。 成人援助論 I、老年看護対象論、精神看護対象論、地域・在宅看護論 地域・在宅看護対象論			
テキスト	ナーシング・グラフィカ 老年看護学① 高齢者の健康と障害 メディカ出版 ナーシング・グラフィカ 老年看護学② 高齢者看護の実践 メディカ出版			
評価方法	筆記試験 100% (第1～3回: 20%、第4～8回: 40%、第9回: 10%、第10～14回: 30%)			

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

分野	授業科目名	単位数	時間数	開講時期	
専門	老年援助論Ⅱ	1	30	2年次 ・ 2学期	
担当講師	専任教員 (病院での看護経験あり)				
授業概要	受療状況やさまざまな健康状態に応じた高齢者の看護を学ぶ。健康障害のある高齢者の看護過程の展開について講義・演習を通して学習する。				
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>健康障害のある高齢者の受療状況に応じた看護実践を理解する。</li> <li>さまざまな健康状態に応じた高齢者の看護を理解する。</li> <li>健康障害のある高齢者の看護過程を展開する。</li> </ol>				
回数	授業内容			担当者	
第1・2回	<ol style="list-style-type: none"> <li>受療状況に応じた高齢者の看護 治療を受ける高齢者の看護                             <ol style="list-style-type: none"> <li>薬物療法</li> <li>手術療法</li> <li>リハビリテーション</li> <li>診察・検査</li> <li>入院</li> <li>退院</li> </ol> </li> </ol>			第1～7回	
第3回	<ol style="list-style-type: none"> <li>さまざまな健康状態に応じた高齢者の看護</li> </ol>				
第4回	<ol style="list-style-type: none"> <li>急性期の高齢者の看護</li> </ol>				
第5回	<ol style="list-style-type: none"> <li>回復期にある高齢者の看護</li> </ol>				
第6・7回	<ol style="list-style-type: none"> <li>慢性期にある高齢者の看護</li> <li>終末期にある高齢者の看護                             <ol style="list-style-type: none"> <li>高齢者の死と医療・ケア</li> <li>終末期看護の実践</li> <li>看取りを終えた家族への看護</li> <li>看取りを終えたスタッフのケア</li> </ol> </li> </ol>				
第8～14回	<ol style="list-style-type: none"> <li>老年看護における看護過程                             <ol style="list-style-type: none"> <li>健康障害のある高齢者の事例展開と演習 演習では以下の内容も実施する                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>尿失禁のある人のオムツ交換</li> <li>褥瘡の創傷処置</li> <li>点滴留置している患者の寝衣交換</li> </ul> </li> </ol> </li> </ol>				第8～15回
第15回	認定試験				
関連科目	事前に学習内容に関して、テキストを用いて調べておく。 関連科目：『老年看護学実習Ⅱ』				
テキスト	ナーシング・グラフィカ 老年看護学① 高齢者の健康と障害 メディカ出版 ナーシング・グラフィカ 老年看護学② 高齢者看護の実践 メディカ出版				
評価方法	筆記試験及びレポート課題等 100% (第1～7回：50%、第8～14回：50%)				
備考	事前に学習内容に関して、テキストを用いて調べておく。				